

自然と文化科 活動記録 (委員会別活動)

日時	2024年3月1日 金 10:00~15:00 (曇り時々晴れ)	担 当 者
場所	企画 (安満遺跡公園・安満宮山古墳) 観察 (藍那古道) 調査 (京都府立植物園) 社会貢献 (服部緑地都市緑化植物園)	文 ・ 篠田富子 写真・大石博司
備考	参加者数 1 班 18 名、2 班 15 名、3 班 14 名、4 班 15 名、新入科予定者 1 名 合計 63 名	

以下、調査委員会の京都府立植物園での活動記録です。参加者は 17 名 (新入科予定者含む。) 昼食時は運よく日差しがあったが、ほぼ終日曇り空の中、10時から15時まで観察を楽しんだ。

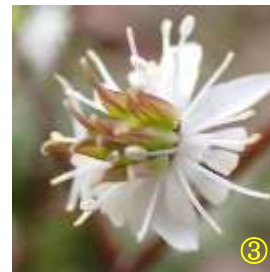
1) 北門近くの「早春の球根ガーデン」

- ・スノードロップ (外花被片、内花被片ともに 3 枚で内花被片は緑色のハート形・写真①)
- ・シクラメンコウム (シクラメンの原種)
- ・ショカッサイ (写真②) の群生があった。



2) 植物生態園をゆっくり観察。季節を感じさせる早春の可憐な花々が咲いていた。

- ・セツブンソウ (今年は暖冬の影響で休眠打破が遅れ咲き終わりの花がまだ残っていた)
- ・キクバオウレン (キクの葉に似る、1 回 3 出複葉)
- ・セリバオウレン (セリの葉に似る、2 回 3 出複葉。雌しべと雄しべがある両性花が多い) (写真③)
- ・ユキワリイチゲ (葉裏が紫色、花弁はなくガク片が花弁状・写真④)
- ・ニリンソウ (早くも一輪だけつぼみを出していた)
- ・フキノトウ 写真⑤ がいくつか顔を出していた。
- ・オニシバリ (ジンチョウゲ科) の黄色い花、アケボノアセビ、アセビの花が満開だった。
- ・休眠中もありました。シロバナネコノメソウは3月末には開花??
- ・ミヤコアオイ (開花中) (写真⑥)



3) 半木 (なからぎ) の森

- ・フタバアオイのつぼみが双葉の間からのぞいていた。地下茎があちこちに伸びていた。

4) 四季彩の丘

- ・スノーフレーク (外花被片、内花被片 3 枚ずつで、先端に緑色の斑点あり)

5) 絶滅危惧種園

- ・日光が当たりフクジュソウの花が開いていた。
- ・珍しいパンダカンアオイの花があった。
- ・アマミアセビ (写真⑦) の花冠は大きく肉厚だった。
- ・雪割草が色とりどりの花を咲かせていた (写真⑧)。



園内のあちこちに 100 年の歴史を物語る樹木が選定され、それぞれの木に説明板がありました。その他、キンキマメザクラ (開花中)、ウメ、ツバキも、いろいろな園芸種の開花が見られた。